

2017年冬号

まんまる Press



Human と Animal でつくるくらしの和
ひゅーまん + あにまる = まんまる!

まんまるプレスは

新潟市動物愛護推進員の広報誌です♪

目次

新潟市動物愛護推進員って何？……

推進員レポート

セミナーが開催されました

～ワンニャン塾『ペットフード』

推進員活動報告

あなたもやってみませんか？ ふれあい訪問活動

ふれあい訪問活動について

推進員からのお知らせ

作ってみよう！着けてみよう！

鑑札・注射済票ケース

推進員の動物紹介

愛犬ムクの思い出

新潟市動物愛護推進員ってなに？

推進員は人と動物が住みよい
やさしい世の中をめざすボランティア

「新潟市動物愛護推進員」は、動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、新潟市が委託 をしています。

地域の身近な相談員として、動物に関する知識や経験を生かして、動物の飼い方を助言したり、動物の愛護と適正飼養の普及啓発活動など積極的・自主的な活動を行うボランティアです。

推進員の多くは公募によって選出されています。

その中には獣医師など動物飼育に関して高い意識と知識を持った人もいますが、何らかの形で動物愛護に係わっている人も何人かいます。

一般市民の方では、大好きな動物のため・社会のために何かをしたいと思って応募した方がほとんどです。



人と動物が住みよいやさしい社会を実現するには、
動物と地域社会に深いかかわりを持つ住民の方が積極的
・主体的に地域に根ざした動物愛護を進める必要があります。

動物愛護とは動物にやさしい社会のことです。
動物にやさしい社会は、実は人間にとっても住みよい
やさしい社会になります。

動物を飼っている人も、飼っていない人も、好きな人も、
キライな人も、どんな人にもやさしい社会。

新潟市動物愛護推進員はそういった社会を目指しています。



～人と動物、住みよい新潟市をめざして～

新潟市では来春、新たに協力していただける推進員を公募する予定です。詳細は下記までお気軽にお問合わせください

(^^♪

新潟市動物愛護センター

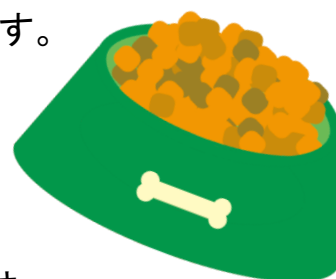
TEL 025-288-0017

Mail dobutsuaigo@city.niigata.lg.jp

セミナーが開催されました

去る11月20日(日)、当動物愛護センターのホールにて、動物愛護協会主催によるセミナーが開催されました。

第3回 わんにゃん塾セミナー『ペットフード』です。



講師は、
川口和清氏

国際ペットワールド専門学校講師、元デビフペット(株)取締役等、動物にかかわる多方面にてご活躍されています。



ここでその内容をほんの一部ご紹介します。



◎ドライフードに表示されている **総合栄養食**

これは主食として決められた基準をクリアしたものである。
30種類以上の栄養素がバランス良く配合されているものである。

◎価格の差は品質と比例するか

情報が溢れている昨今、ネット上や店頭、フードの外装などに掲げられている表示をよく確認すること。最高級や無添加(何が?)などの文字に惑わされない。
プレミアムフードの中にも、違法表示されているものもある。

他にもフードの量やおやつ、シニア犬の事、法律の事等々盛りだくさんな内容であったという間に時間が過ぎました。

当日は40名ほどの方が参加されましたが、皆さん熱心に耳を傾けておられました。

これからも、皆さんのお役に立てる情報を発信していきたいと思えます。どうぞ、ご活用ください。



あなたもやってみませんか ふれあい訪問活動を



平成17年から新潟市動物愛護協会のふれあい訪問活動を、平成21年からグループでの個人活動を始めました。

平成17年11月9日～平成28年7月20日

ふれあい訪問活動	213回
ふれあい動物教室	51回
ワンワン教室	
合計	264回



表彰状

功勞動物 藤間もも様

あなたは当協会のふれあい訪問活動において高齢者の方々に癒しや優しさそして元気を与え多大な貢献をされましたよって感謝の意を表し功勞動物として表彰します

平成28年9月22日
新潟市動物愛護協会

会長 永松亮一



新潟市動物愛護推進員 西区
藤間昭子

『ふれあい訪問活動』について

今回は新潟市動物愛護協会の活動の一つである『ふれあい訪問活動』をご紹介します。

年6回、活動登録している会員が自分の犬を連れて、高齢者介護施設を訪問します。

犬が怖い、好きではないとおっしゃっていた施設利用者の方々も、最後には会話も弾んで表情も明るくなります。

ワンちゃんたちの愛くるしい眼差し、仕草にたくさん癒されました。とても楽しいひと時を過ごせました。

など、施設利用者様または施設スタッフの方々が感想をおっしゃってくださいます。そんな声を聞くと、また頑張ろうと励みになります。

現在30名の人と14頭の犬が登録しています。

どうぞ皆さんも私たちと一緒に活動に参加しませんか？

詳しい事は、動物愛護センター事務局までお問い合わせください。



作ってみよう！付けてみよう！

鑑札・予防注射済票ケース

※ぶらぶらがキライなワンちゃん

※がちゃがちゃが苦手なワンちゃん

におすすめ、マジックテープで脱着が簡単にできます。

鑑札・注射済票を入れておけば迷子になっても安心です。

飼い主さんの名前・連絡先を書いた紙を入れてもいいですね。

＜犬の登録と狂言病予防注射は飼い主の義務＞

犬の飼い主には、

- (1) 現在居住している市区町村に飼い犬の登録をすること
- (2) 飼い犬に年1回の狂犬病予防注射を受けさせること
- (3) 犬の鑑札と注射済票を飼い犬に装着することが法律により義務付けられています。

厚生労働省HPより

愛犬ムクとの思い出



我が家の愛犬ムクは、幼年期から老年期にかけてその生涯を通して家族の心を癒し、時には励ましてくれ、心の支えとなってくれました。

ペットショップで、当時子供だった私が「おいで」と声をかけたところ、5匹いた中から唯一駆け寄ってきたのがムクであり、家族にとってそれが運命的な出会いでした。



実際飼って知りましたが、幼年期はまるで人間の赤ちゃんをあやすような大変さと、ただひたすらにとっても愛くるしい姿を見せてくれる時期。青年期は一緒に運動をしたり、人間とともに趣味を楽しんでくれる時期。壮年期や老年期は、体力が衰え、しかし人間の言葉や感情を深く理解してくれて愛情が深まる時期。と、一生を通して様々な顔を見せてくれました。

最後の別れの時は自らの命を以て命の大切さ、尊さを教えてくれました。亡くなった今でも家族の間でムクの話があがり、家族の絆を繋いでくれています。

ペットを飼い始めた方、これから飼おうと思っている方、どうか最後まで一緒にいていただけたらと思います。命を預かることの大変さ、楽しさ、悲しさ、様々な感情を教えてくれ、人間と一緒に成長してくれると思います。

最後までお目通しくださり、誠にありがとうございました。



久しぶりの発行の『まんまるプレス』いかがでしたか？

これらの記事は、新潟市動物愛護センターの
ホールでも展示されています。

この展示は春夏秋冬・年4回新しい記事が貼り
出され、それに合わせてこのまんまるプレスも
発行予定です。

次回の発行をお楽しみに♪